

救急診療科初期臨床研修プログラム

東京西徳洲会病院 初期臨床研修管理委員会 2024. 4. 1 更新

I. 研修プログラムの目標と特徴

研修医氏名：_____

東京西徳洲会病院救急総合診療部で研修する。救急総合診療部の研修は、1年次2ヶ月、2年次1ヶ月の期間限定のローテート研修と、2年間の各科のローテートと重複して行われる日替わり担当の救急総合診療部研修との両輪からなる。救急総合診療部では、一般診療時間外の受診や救急搬送された患者様を主に診療するので、コモンディジーズが多く、年齢、性別、慢性、急性、診療科の枠などにとらわれず、疾患の初期診断治療から適切なコンサルテーションができるまでを、幅広く総合診療方式で研修する。救急総合診療部経由で患者様が入院する場合、初診の研修医が病棟主治医になることが原則で、診断治療に伴う病状の変化を初診時点から治癒に至るまでの時間的経過と共に追体験できることが大きな特徴である。救急総合診療部は、独立型でなく本院併設型であり、各診療科医師が救急総合診療部を兼任して診療責任を分担しているので、疾患毎に指導医は異なるが、全体は救急総合診療部指導責任者によって統括されている。研修期間中にBLS(1次心肺蘇生)、ICLS(2次心肺蘇生)を履修し、実際の心肺蘇生の現場で蘇生手技が自ら施行できるのみならず、現場のリーダーとして組織的系統的な蘇生が行えるだけの実力が養成される。日本救急医学会認定医指定施設に認定される予定で、卒後3年の研修で日本救急医学会認定医受験資格を取得できる。

II. 研修施設と指導責任者

研修施設：医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院・湘南鎌倉総合病院・湘南藤沢徳洲会病院
湘南厚木病院

指導責任者 川邊 貴史 東京医科歯科大学卒

導医数； 1名

III. 研修期間と週間予定表

研修期間： 1 年次 2 ヶ月、2 年次 1 ヶ月の必須ローテーションに加えて、救急総合診療部以外をローテーション中も時間外/夜間休日の時間帯を中心に月 5－6 回の研修を行う。

週 間 予 定 表

(例)

東京西徳

洲会病院

時刻	月	火	水	木	金	土	日
7:00-8:00	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	Off
8:00-9:00	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	Off
9:00-12:00	午前診	午前診	午前診	午前診	午前診	午前診	Off
12-13:00	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	Off	Off
13-17:00	午後診	午後診	午後診	午後診	午後診	Off	Off
17-19:00	夜診	夜診	夜診	夜診	夜診	Off	Off

方略 (Learning Strategies: LS)

1) 研修の方略

救急科必修プログラムでは、下記が LS となる。

- ① 教育課程に示す時間帯において、指導医の監督のもとで救急車搬入患者の診療を行う。
- ② 救急患者の病態に応じた適切な dispositon の判断を行う。
- ③ 救急患者の管理に必要なコンサルテーションを実践する

救急診療科初期研修到達目標

評価記載： 優（完全に目標を達成した）
良（不完全だが目標を達成した）
可（目標に近いがまだ達成していない）
非（目標を全く達成していない）

I. 基本的知識および技能

1. 問診および診察法

一般目標(GIO)：

臨床医として基本的な問診および診察法の知識・技術・態度を身につける。

行動目標(SBO)：

病歴を正確にとり記載できる。

自己評価

指導医評価

優・良・可・非

優・良・可・非

全身の診察を正確，かつ要領よく行える。

優・良・可・非

優・良・可・非

外耳道，鼓膜，鼻腔，咽頭，喉頭の異常を記述することができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

直腸診で大きな異常を見つけられる。

優・良・可・非

優・良・可・非

男・女性器の異常を指摘できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

妊娠の初期兆候を把握できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

皮膚の所見を記述できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

眼底の重大な所見を記述できる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

骨折，脱臼，捻挫の診断ができる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

患者をリラックスさせるような，診察場所・態度・言葉遣いに配慮できる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

指導医サイン

2. 基本的臨床検査法

GIO：

基本的な臨床検査法の選択，結果の解釈について，必要な知識・技術・態度を身につける。

SBO：

自己評価

指導医評価

尿の一般検査を行い，結果を解釈できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

便の肉眼的検査と潜血反応を実施し，結果を解釈できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

血清生化学的検査を適切に指示し，その結果を解釈できる。	優・良・可・非	優・良・可・非
血液ガス分析を行い結果を解釈できる。	優・良・可・非	優・良・可・非
血清免疫学検査を適切に指示し，結果を解釈できる。＜２年次研修目標＞	優・良・可・非	優・良・可・非
心電図をとり，その主要変化を解釈できる。＜２年次研修目標＞	優・良・可・非	優・良・可・非
肺機能検査の指示を行い，主要な変化を指摘できる。＜２年次研修目標＞	優・良・可・非	優・良・可・非
腎機能検査の主なものを指示し，成績を解釈できる。＜２年次研修目標＞	優・良・可・非	優・良・可・非
超音波検査の指示を行い，主要な変化を指摘できる。＜２年次研修目標＞	優・良・可・非	優・良・可・非
検査の必要性を的確に判断できる。＜２年次研修目標＞	優・良・可・非	優・良・可・非

指導医サイン

3. X線検査法

GI0：

基本的なX線検査法の知識・技術を修得し，X線障害を予防する態度を身に付ける。

SB0：	自己評価	指導医評価
胸部，腹部，脊椎，四肢の単純X線写真を指示し，結果を解釈できる。	優・良・可・非	優・良・可・非
脊椎，四肢の単純X線写真を指示し，解釈できる。＜２年次研修目標＞	優・良・可・非	優・良・可・非
頭部，頸部，体幹のCT，MRI像の所見を指摘できる。＜２年次研修目標＞	優・良・可・非	優・良・可・非
消化管，肺，脳，腎の造影法（血管造影を含む）の主な異常を指摘できる。＜２年次研修目標＞	優・良・可・非	優・良・可・非
X線障害について述べ，予防に配慮できる。＜２年次研修目標＞	優・良・可・非	優・良・可・非

指導医サイン

4. 滅菌・消毒法

GI0：

無菌操作に必要な各種の滅菌，消毒法についての知識・技術・態度を身に付ける。

SB0：	自己評価	指導医評価
手術・観血的検査などの無菌的処置時に用いる器具や諸材料の滅菌法を述べることができる。	優・良・可・非	優・良・可・非
手術時の手洗い，ブラッシングが確実にできる。	優・良・可・非	優・良・可・非
滅菌手術着や手袋の着用ができる。	優・良・可・非	優・良・可・非
手術野の術前の清拭や消毒を行うことができる。	優・良・可・非	優・良・可・非

術創の包交，外傷の消毒処置ができる。

優・良・可・非 優・良・可・非

採血，点滴などが清潔操作でできる。

優・良・可・非 優・良・可・非

指導医サイン

5. 院内感染対策

GI0：

院内感染の原因と病態を理解し，発生の予防および対策に必要な技術・態度を身につける。

SB0：

自己評価 指導医評価

院内感染対策について原因と病態について述べるができる。

優・良・可・非 優・良・可・非

診察直前に毎回手洗いを励行し，院内感染の予防ができる。

優・良・可・非 優・良・可・非

院内感染症の予防と治療法を指示できる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非 優・良・可・非

指導医サイン

6. 採血法

GI0：

採血の意義を理解し，検査に必要な血液検体を必要最小限に採取する技術・態度とを身に付ける。

SB0：

自己評価 指導医評価

目的とする臨床検査の種類に応じて準備を指示し，確認できる。

優・良・可・非 優・良・可・非

臨床血液検査に必要な採血量を予測できる。

優・良・可・非 優・良・可・非

静脈血を正しく採血できる。

優・良・可・非 優・良・可・非

動脈血を正しく採血できる。

優・良・可・非 優・良・可・非

採取した血液検体の処理を適切に行うことができる。

優・良・可・非 優・良・可・非

針刺し事故防止に配慮できる。

優・良・可・非 優・良・可・非

指導医サイン

7. 注射法

GI0：

各注射法の適応を理解し，正しい注射法を行う技術・態度を身に付ける。

SB0：

自己評価 指導医評価

注射部位を正しく選択することができる。

優・良・可・非 優・良・可・非

皮下皮内，筋，静脈，動脈等各注射法の特徴と危険を確認して実施できる 優・良・可・非 優・良・可・非
清潔操作に配慮し，薬剤投与前の再確認ができる。 優・良・可・非 優・良・可・非
起こりうる障害を列記し，予防と治療策を講じることができる。

＜2年次研修目標＞ 優・良・可・非 優・良・可・非

8. 輸血・輸液法

GI0：

輸血，輸液を安全に行うために必要な，基本的知識・技術・態度を身に付ける。

SB0：

自己評価

指導医評価

輸血の種類と適応を述べるができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

血液型検査とクロスマッチの指示と解釈ができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

水，電解質代謝を理解し，輸液の種類と適応をあげ，輸液量を決定できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

輸血過誤を防止するための，クロスマッチ結果のダブルチェックができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

清潔操作に配慮し，院内感染症予防に配慮できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

自家血貯血に際し，適切な採血後オーダーが出せる。

優・良・可・非

優・良・可・非

輸液合併症を列挙でき，予防，診断，治療ができる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

中心静脈栄養の適応を述べ，正しく実施できる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

指導医サイン

9. 穿刺法

GI0：

診断または治療上必要な穿刺法を安全に行うために必要な，基本的知識・技術・態度を身に付ける。

SB0：

自己評価

指導医評価

腰椎，胸腔，腹腔，骨髄の各穿刺法の目的，適応，禁忌，実施方法，使用器具，実施

上の注意，起こりうる障害とその処置について説明ができ，手技を安全に実施できる。

＜2年次研修目標＞ 優・良・可・非

優・良・可・非

圧測定，採血，排尿，脱気，薬剤注入など適切な器具と方法を選択できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

検体についての適切な検査を指示し，その成績を解釈できる。

＜2年次研修目標＞ 優・良・可・非

優・良・可・非

薬剤注入の適応を正しく判断できる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

指導医サイン

10. 導尿法

GI0 :

確実に安全な導尿ができるために必要な、基本的知識・技術・態度を身に付ける。

SB0 :

自己評価

指導医評価

導尿の適応・禁忌を列挙し、安全に施行できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

持続的導尿の管理・ケアができ、中止する条件を述べることができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

膀胱穿刺の適応を述べ、安全に実施できる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

指導医サイン

11. 処方

GI0 :

一般的な薬剤処方ができるために必要な、基本的知識・技術・態度を身に付ける。

SB0 :

一般経口及び注射剤の適応、禁忌、使用量、副作用、配合禁忌、などをあげ処方できる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

薬物療法の成果を評価することができる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

麻薬の取扱上の注意を述べ、正しく処方し、適切に処理できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

指導医サイン

12. 局所麻酔と外科手技

GI0 :

局所麻酔と外科手技が安全にできるために必要な、基本的知識・技術・態度を身に付ける。

SB0 :

自己評価

指導医評価

頻用される外科器具の選択操作ができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

局所浸潤麻酔とその副作用、極量について列記できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

単純な皮下膿瘍の切開排膿、皮膚病変の摘出・生検ができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

創傷に対して消毒、デブリードマン、止血、縫合処置が行える。

優・良・可・非

優・良・可・非

指導医サイン

13. 一般的救急対処法

GI0 :

急性諸症の病態を理解し、適切ですみやかな処置を講じるために必要な、基本的知識・技術・態度を身に付ける。

SB0 :

自己評価

指導医評価

バイタルサイン（意識、体温、呼吸、循環動態、尿量など）のチェックができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

発症前後の情報を、本人、家族、同僚、付添いなどから収集できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

意識障害患者の鑑別診断と応急処置ができる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

心肺停止、EMDの原因を列記し、対策を述べることができる

優・良・可・非

優・良・可・非

各種ショックの鑑別と対応を述べることができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

気道確保（異物・内分泌除去、エアウェイ挿入、頸部後屈・下顎保持）ができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

気道確保、人工呼吸（用手、ロー口、バグマスク）及び体外式心マッサージを含めた BLS

（Basic Life Support ; 1次心肺蘇生術）ができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

静脈留置針を用いて確実に末梢静脈の確保ができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

気管切開の適応を述べることができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

経鼻・経口胃チューブの適応、禁忌を述べ、安全に挿入できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

胃洗浄の適応を列挙し、安全に施行できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

出血性ショックを診断し、出血量と輸液輸血の必要量を予測できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

創傷の基本的処置（止血、洗浄、縫合、感染防止、包帯など）がとれる。

優・良・可・非

優・良・可・非

初期治療を持続しながら適切な専門医にコンサルトできる。

優・良・可・非

優・良・可・非

重症患者の転送に当たり、主要な注意を指示できる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

緊急手術術前の最小限の検査及び処置を行なえる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

気管内挿管の適応を列挙し、安全に施行できる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

指導医サイン

14. 小児科領域の基本的研修目標

1) 面接、指導

GI0 :

乳幼児・小児との接触、親（保護者）から診断に必要な情報を的確に聴取するために必要な、基本的知識・技術・態度を身に付ける。

SB0 :

自己評価

指導医評価

乳幼児・小児に不安を与えないように接することができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

親(保護者)から、発病の状況、心配となる症状、患児の生育歴、既往症、予防接種

などを要領よく聴取できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

親(保護者)に対して、適切に症状を説明し、療養の指導ができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

指導医サイン

2) 診察

GI0:

小児に必要な症状と所見を正しくとらえ、緊急処置に対処するために必要な、基本的知識・技術・態度を身に付ける。

SB0:

自己評価

指導医評価

顔貌と栄養状態を判断し、発疹、チアノーゼ、脱水症の有無を確認できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

乳幼児の咽頭の視診ができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

下痢患者では、便の性状(粘液、血液、膿など)を説明できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

嘔吐や腹痛のある患児では、重大な腹部所見を説明できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

咳をする患児では、咳の出かたと呼吸困難の有無を説明できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

痙攣や意識障害のある患児では、髄膜刺激症状を調べることができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

小児の正常な精神身体発育、生活状況を理解し判断できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

小児の年齢差による特徴を理解できる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

発疹のある患者では、発疹の所見を述べることができ、日常遭遇することの多い疾

患(麻疹、風疹、突発性発疹、猩紅熱など)の鑑別を説明できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

新生児の正確な身体的診察ができる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

指導医サイン

3) 手技

GI0:

乳幼児・小児の検査および治療のために必要な、基本的知識・技術・態度を身に付ける。

SB0:

自己評価

指導医評価

導尿ができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

浣腸ができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

胃洗浄ができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

腰椎穿刺ができる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

採血(静脈, 動脈)・血管確保ができる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

注射(皮下, 皮内, 筋肉, 静脈)ができる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

指導医サイン

4) 薬物療法

GI0:

乳幼児・小児に用いる薬剤の薬理, 適応, 投与量, 副作用についての基本的知識を身に付ける。

SB0:

自己評価

指導医評価

小児の年齢別の薬用量を理解し, 一般薬剤(抗生物質を含む)を処方できる。

＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

乳幼児に対する薬剤の服用, 使用について, 親を指導できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

年齢, 疾患などに応じて補液の種類, 量を決めることができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

指導医のもとで新生児薬物, 輸液療法ができる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

指導医サイン

5) 小児の救急

GI0:

小児に多い救急疾患の基本的知識と手技を身に付ける。

SB0:

自己評価

指導医評価

喘息発作の応急処置ができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

脱水症の応急処置ができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

痙攣の応急処置ができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

鼠径ヘルニア嵌頓の整復処置ができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

酸素療法ができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

小児の骨髄内注入法輸液の適応と手技を述べることができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

腸重積症を診断し, 注腸造影検査と整復ができる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

1次心肺蘇生術(BLS), 2次心肺蘇生術(ACLS)が行なえる。

優・良・可・非

優・良・可・非

指導医のもとで新生児仮死の蘇生ができる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

新生児の症状安定を図り, 専門医に転送できる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

指導医サイン

15. 産婦人科領域の基本的研修目標

1) 産科領域の救急

GI0：

正常分娩を含む妊娠，分娩，産褥に関連した救急患者を診察し，専門の産科医にコンサルトする必要性とタイミングを的確に判断できるとともに，それまでの応急処置を行なうために必要な，基本的知識・技術・態度を身に付ける。

SB0：

自己評価

指導医評価

産科救急患者または家族などに面接し，診断に必要な情報を聴取し，記録できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

産科的一般診察を行ない，その結果を解釈できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

子宮外妊娠の診断ができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

流産の応急処置ができる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

分娩直後の新生児の処置ができる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

妊婦，産婦，褥婦の出血に対する応急処置ができる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

指導医サイン

2) 婦人科領域の救急

GI0：

婦人科の救急患者を診察し，適切な初期診療を行ない，専門の産婦人科医にコンサルトするまでの応急処置を行なう能力を身に付ける。

SB0：

自己評価

指導医評価

婦人科救急患者または家族などを問診し，診断に必要な情報を聴取し記録する。

優・良・可・非

優・良・可・非

婦人科的一般診察を行ない，その結果を解釈できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

性器出血の応急処置ができる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

骨盤内腫瘍，卵巣腫瘍捻転および破裂を他の急性腹症と鑑別し，緊急手術の必要

性を判断し専門の婦人科医にコンサルトすることができる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

骨盤腹膜炎を鑑別でき，適切な抗生剤治療が指示できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

指導医サイン

II. 基本的診療態度および習慣

1. 医療の場での人間関係

GI0：

患者、患者家族および同僚、コメディカルとの信頼関係を構築するために必要な、基本的知識・技術・態度を身に付ける。

SB0：

患者や家族と適切な人間関係を確立することができる。

自己評価

指導医評価

優・良・可・非

優・良・可・非

患者及び家族に対し納得のいく説明ができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

他の医師、医療機関に対し適切なコンサルトと紹介ができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

常に敬語を用いて丁寧な言葉遣いで対話ができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

患者家族に剖検の依頼ができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

患者にエンパシー(感情移入、共感)を感じることができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

面白くないことがあっても、患者や同僚、コメディカルに八つ当たりせず耐えられる。

優・良・可・非

優・良・可・非

どんなに疲れていても、診療中は患者の前で笑顔を絶やさないようにできる。

優・良・可・非

優・良・可・非

患者から医療費負担、社会福祉サービスについての相談に応じることができる。＜2年

次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

上級医師と診療上の問題で医学的・社会的議論ができる。

優・良・可・非

優・良・可・非

下級医師、コメディカルを教育指導できる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

チーム医療において協力的かつ指導的に行動できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

＜2年次研修目標＞

指導医サイン

2. 医療保険

GI0：

医療保険を理解し、正しい保険診療が実践できるように必要な、基本的知識・技術・態度を身に付ける。

SB0：

自己評価

指導医評価

医療保険制度をよく理解している。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

診療報酬明細書(レプト)から患者の自己負担額を予測できる。

優・良・可・非

優・良・可・非

日常よく行なう処置，検査の保健点数について知識がある。	優・良・可・非	優・良・可・非
特定疾患や公費医療の手続き方法を知っている。＜２年次研修目標＞	優・良・可・非	優・良・可・非

指導医サイン

3. 総合的，包括的医療

GI0：

総合的，包括的医療が行えるために必要な，基本的知識・技術・態度を身に付ける。

SB0：

自己評価

指導医評価

患者を身体的側面だけでなく，心理的，社会的側面からも併せてとらえることができる。

＜２年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

医療，保健の専門職として社会への責任感を実感できる。＜２年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

保健，予防，社会復帰を含む医療を包括的に把握している。＜２年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

職場，地域における健康相談，健康検査，健康教育ができる。＜２年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

地域における母子保健，老人保健などの保健予防活動ができる。＜２年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

予防接種の適用の判定，種類の選択およびその実施ができる。＜２年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

外来患者への健康教育（健康相談及び指導）ができる。＜２年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

コメディカルの役割を理解し，協調して医療活動ができる。＜２年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

指導医サイン

4. 地域医療・持続的医療

GI0：

地域医療について理解し，医療行為を持続するために必要な，基本的知識・技術・態度を身に付ける。

SB0：

自己評価

指導医評価

地域の医療資源を活用し，入院患者の退院後も持続性のある医療ができる。＜２年次研修目標＞

指導医サイン

6. 生涯研修

GI0：

生涯研修を続ける姿勢を身に付ける。

SB0：

自己研修プログラムを作成し実践できる。＜2年次研修目標＞

自己評価

優・良・可・非

指導医評価

優・良・可・非

カンファレンスを主催できる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

文献検索法を理解している。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

コンピュータを用いた医学文献データベースから必要な情報を検索抽出できる。

＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

インターネットを使用し、必要な医学情報にアクセスできる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

医療情報の評価と選択の方法を理解している。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

コンピュータを用いたデータの処理ができる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

研究発表や研究論文を書くことができる。＜2年次研修目標＞

優・良・可・非

優・良・可・非

各種学会に加盟し、認定医・専門医取得の準備を始めている。

優・良・可・非

優・良・可・非

指導医サイン

指導医評価

1年修了時指導医評価

指導医サイン

2年修了時指導医評価

指導医サイン
